

HADANO MEISUI ROTARY CLUB WEEKLY

例会場 秦野市平沢 2550-1 秦野商工会議所内 TEL(0463)81-1355

事務所 秦野市平沢 2550-1 秦野商工会議所内 TEL(0463)81-1355

例会日 毎週木曜日 12時30分～13時30分

会長 瀬戸 誠 幹事前 肇 会報委員長 鈴木和夫



人類に奉仕するロータリー

2016年～2017年度国際ロータリー会長
ジョン・ジャーム

第1536例会 2017年3月16日(木)(晴)

司会 前肇幹事

点鐘 瀬戸誠会長

合唱 「それこそロータリー」(酒井健一さん)

ビジター紹介 日本大学総合科学研究所教授、神奈川大学
法学部非常勤講師 露木順一様

ご結婚記念日 中西さん(3/25)、酒井さん(3/27)、陶山さん
(3/28)

お誕生記念日 <会員>大屋さん(3/16)、北村俊さん
(3/16)
<奥様・ご主人>酒井幸子さん(3/23)

会長の時間

- ガバナー月信3月号にクラブ紹介として、秦野名水RCが掲載されています。皆さんよく目を通して下さい。
- 今日は何の日「国立公園指定記念日」です。1934年当時の内務省が瀬戸内海・雲仙・霧島の3か所を国立公園に指定しました。今は環境省が指定した国立公園が28か所指定されています。
因みに神奈川県は「富士箱根伊豆国立公園」として1936年2月1日に指定されました。
- 今日はロータリーのことを話そうと、お手元に世界各国RC会員数に関する資料を用意しました。
現在世界のRCの会員数は凡そ120万人位ですが、こ

こ数年は全く増えていません。

次に日本の会員数ですが、資料の通り急激な右肩下がりになっています。最高13万5千人いた会員も今は9万人を切っています。2016年で少しグラフの数値が上がっていますが、これはEクラブや例会開催を月に2回にと変則的な開催をし、とにかく会員数を増やす為にロータリーはあらゆる努力をしています。

ただ怖いのは、これから10年もすると団塊の世代が後期高齢者になってしまいます。恐らくロータリアンの方々も後期高齢者になると退会される方が多くなるだろうし、現在の9万人弱の会員数がこの後大変な数字になっていくのでは…と思っています。

2780地区でも色々な努力をし、統計も取ったりしていますが具体的な参考になるものが中々ありません。

そんな中、Web上に広島県のあるロータリークラブが『前例踏襲主義による運営のマンネリ化』と明確に会員減少の原因を纏めたものがありました。

会長に就任してから、前年の系統は継がず新しいことを常々やっていくという主義で、徹底的に前例を無くしてしまったのでお怒りの方もおられると思います。それはすべて前例踏襲主義で運営していくと会がつかなくなってしまいうので、常に新しいことをやり続けています。これは私の任期の6月までに新しいことに

会員数	36名
出席数	24名
出席率	66.67%
前々回の修正	69.44%

メイクアップ	【事後】木村さん、淵脇さん (3/10 秦野中)
--------	-----------------------------

本日のプログラム	3月16日 ○企業人卓話 露木順一さん
----------	---------------------------

次週のプログラム	3月23日 ○休会 3月30日 ○花見例会 本町公民館
----------	---

徹底的に挑戦させていただきます

- 今日の卓話講師の露木様ですが、本当に「浪漫」のある方で未来に向かって挑戦を今でもし続けてる方です。「浪漫」は人を呼びます、よって斜陽になってしまったロータリークラブに本当に適した講師だと呼びました。今日の卓話は本当に楽しみにしておりましたので宜しく願い致します。

- ガバナー事務所より

1. 2015-16年度 End Polio Now 「歴史に1ページを刻もう」キャンペーンの感謝状
2. 2015-16年度 100%「財団の友」会員のクラス及び「毎年あなたも100ドルを」クラブの表彰

以上詳細は配布資料及びMyロータリーを閲覧して下さい。

幹事報告

【受付文書】

- ①フィリピン シキホール島セントラル RC 会長、シキホール島日本親善大使より、「モリンガ茶を飲んで島の子の支援にご協力を！！」(お願い)
- ②グランフィールズカントリークラブより、当クラブゴルフプレイのご案内
- ③秦野市観光協会より、映画「じんじん〜其の二〜」完成披露特別先行上映会について (御礼)
- ④ロータリーの友事務所より、次年度雑誌委員長への『友』誌送付について
- ⑤(株)阪急交通者より、2017年ロータリー国際大会アトラクタのご案内
- ⑥米山奨学会より、ハイライトよねやま204
- ⑦(株)オクトンより、周年記念品案内

【本日の配布物】

- ①ガバナー月信3月号
- ②島倉優奈さん月例報告書2月
- ③米山学友会より交流18号(回覧)
- ④露木順一様プロフィール
- ⑤世界各国 RC 会員数に関する資料

スマイル報告

- 瀬戸誠さん「本日は露木様、よろしくお願ひします。会員の皆様に、次々週の花見例会は今までにないイベントを企画しています。楽しみにお越しください。」
- 前肇さん「スマイルします。」
- 柳川清紀さん「事務局の諸星さんの高校の後輩達が

ダンスドリルで世界2位になったそうです。おめでとう！」

- 諸星道治さん「スマイルします。IM ご苦勞様でした。」
- 原郁夫さん「露木様、名水 RC へようこそ。開成町のまちづくりの卓話を楽しみにしています。」
- 酒井健一さん「結婚祝いと妻の誕生祝いありがとうございます。」
- 米山君夫さん「今日は暖かく過ごしやすいですね。内孫の次女が私立中学に合格しました。そして、外孫の双子の長男次男が公立高校に合格しました。一段落してほっとしています。スマイルします。」
- 大屋富茂さん「30年近いロータリー活動の中で初めてのピタリ賞です。この年で元気でいられること、仕事の出来ることに両親に感謝したいと思います！」
- 桐山晃忠さん「春風にスマイル。」
- 陶山典之さん「結婚祝いありがとうございます。」
- 淵脇美代子さん「日差しが柔らかく、春らしくなってきましたが、昨日の早朝御殿場は雪がちらちらしました。気候の変化が激しく、体調管理が大変です。皆様もどうぞお大事に！」
- 鈴木和夫さん「スマイルします。」
- 山口光弘さん「ガバナー月信2月号の島倉さんのレポートを読んで頂けましたか？送り出してよかったと実感いたしました。」
- 北村まり子さん「スマイルします。」
- 木村眞澄さん「この間のインターシティーミーティングに参加させて頂きました。露木順一様、本日は宜しくお願ひ致します。」
- 吉田久美子さん「露木様のお話、楽しみにしております。」
- 諸星常平さん「露木前町長にスマイルします。」
- 北村俊和さん「バースデーびたりの日です。ありがとうございます。スマイルします。」
- 原恵美子さん「スマイルします。」
- 関隆明さん「スマイルします。」
- 古谷スミ子さん「露木様の卓話を楽しみにしております。「県西が燃えた日」に古谷商店はポスター貼りに大わらわでした。ますますのご活躍をお祈りいたします。」

合計 83,000円

委員会報告及びその他の報告

<親睦活動委員会：北村委員長>

花見例会(家族親睦会)

日時：3月30日(木) 14:00～ 集合
16:00 点鐘

場 所：本町公民館

内 容：①留学生を招待

②家族親睦会も兼ねるので家族の方もご招待

③我々は「蕎麦打ち」を実施し、皆さんに振舞う

④例会後、花見例会開催

<消防自動車贈呈の件：原郁夫さん>

° 許可が中々下りず、止まっていた消防車ですが、先日横浜港に残り2台を運んできました。

丁度今日出港し、3/26にバンコクに到着の予定となっておりますので、ご承知下さい。

企業人卓話

日本大学総合科学研究所教授

神奈川大学法学部非常勤講師

露木 順一 様



下記の通り要点のみ纏めました。

1. ご自身の略歴紹介

2. 概要

- 「開成町のまちづくり」と題し、「開成町の歴史」「特色と教訓」「未来に向けて」と三つに分けて卓話して頂きました。
- 開成町は富士山を源流として、あとは丹沢と箱根を源流とする酒匂川の沖積平野の北の方の小さな町です。
例えば「川の流れは自然だ」と思われますが、実は全部人の手が加わっており、それがおろそかになると必ずしっぺ返しがやってきます。「災害は忘れた頃にやって来る」ということです。
酒匂川は昔は自由に何本もの川筋がありました。江戸時代に小田原藩の藩主によって無理に川の流れを変えて田を作り耕作をできるようにしました。今は丁寧に土木工事が進んでいますからこの状態で住むことができます。ということは

町は人工的に作られているということです。

小田原藩の藩主が江戸時代に入って土木工事を行って川の流れを人工的に変えて水田ができるようになったのが開成町です。

ところがこんな大変な土木事業も富士山の大噴火で全部なくなってしまいました。

要は、どんなに良い事業を行っていても一発災害が来るとこうなってしまうということです。

この富士山の宝永大噴火は秦野でも50~60cmの砂が積もる大きな被害を受けました。この当時の足柄地域一帯は危急存亡の事態を迎えていたということになります。

この状態を救済したのは徳川吉宗であり、吉宗から抜擢された民間人田中丘隈が治水工事を行いました。

そして1955年2月1日に開成町が誕生しました。名前の由来は、二つの村の小学校の名前を取ったものです。この当時の新聞によると、人口4600人の町はずぐどこかに吸収されなくなるだろうと書かれています。ところが、今は全く違う実情になっているのはどうしてだろうか？

- 最大の要因は、1965年に日本が高度成長の真っ只中、日本中が大開発に進んでいた時に開成町は逆というか、しっかり計画的にやろうということで町を三つに明確に分けました。そして勝手な開発はさせないということが大方針となりました。

まず町の北側は田んぼを残し、南側は小田急の駅もなかったが将来は駅を誘致するよう開発し、真ん中は住居地域なので公共施設をたくさん配置し、環境にのいい開発を計画しました。

自身が町長に就任した際に、乱開発を避けて町の北側の田んぼのあぜ道にあじさいを植えた美しい景観が残っていました。もし都市計画法の施行の時に開発優先になっていたらこの景観は全くなかったはず。この田んぼのあじさいを徹底的に売り込みました。

このように小さな町が生き延びるには、数少ない資源を徹底的に利用し一点突破でやるということが大事です。

また逆転の発想で、土地が平坦なので自転車の町づくりをしようということにもなりました。これは当時の建設省のモデル事業になったわけです。

また、開成町は水害の町なので歴史的遺産が何もないわけで、唯一残ったのが300年前の古民家でした。このお屋敷が酒匂川の洪水を潜り抜けて耐えた生き証人なので何とか残したいと古民家の再生を行い

ました。温故知新です。

そして財源確保の為に開成町は大きな工場を誘致することは土地が狭く不可能なので、富士フィルム先進研究所の誘致を行いました。

最後に、未来投資として新設小学校を建設しました。これは時代が変わって人口が増えたから小学校を建てるとか、人口が増えたから病院を建てるとかではなく、あそこはいい小学校があるから住もう、いい病院があるから住もうという時代になってきています。

ですから先に小学校を建て、それから周りを開発していったわけです。このようなことから開成町は幸いにも人口が増えている全国的にも稀にみる小さな町となっています。

- しかし順風満帆ではなく、放っておけばすぐに少子高齢化・人口減少、特に農地を守る人がいなくなってきて農業後継者の高齢化、施設・基盤整備財源の確保をしなければならない。また小田原市と南足柄市が合併するかもしれないということに対応しなければならない。

今までやってきたことで良かった、だから腕組みして待っていればいいんだとしたら一発でアウト。開成町は人工的に河川の流れを変えて作った人工的な町なんです。なので、手を加えることを少しでも怠ればすぐに元の本阿弥になってしまいます。

ではどう解決していくのかというと、もう一度一点突破を考えよう。開成町の名前は教育だったので、あの町に行けばいい教育が受けられるということで人を集めよう、やり直そうと今動いています。次に財政が厳しいのでやはり住民や企業との協働が必要になってきます。

最後に、合併をしないなら近隣の市町との広域連携の徹底強化が必要です。

これはロータリーにおいても同じことが言えます。新しいことに挑戦する、今までの前例は変える、ということは大変素晴らしいことですが、何に集中するかをそろそろ決めないと右往左往することになる時期に日本中の自治体になっており、それはロータリーも同じ、他の団体も同じです。あなたのところは一体何に本当の目玉を置くのか？開成町は教育です。それを決める必要があります。

できないと思ってしまうたら、それはそれでおしまいなので、大いにチャレンジして欲しいと思います。

